

Getit

Note

このページでは、Primoの検索結果での場所の順序の設定、Primoでの利用可能性によるライブラリリストのフィルタリング、所蔵表示ラベルの構成など、Getitの使い方について説明します。
フルフィルメントに関するすべての主な文書ページへのリンクは、[フルフィルメント](#)をご覧ください。

Primo検索結果でのロケーションのオーダーの設定

Primo検索結果のオーダーを設定するのは、次のいずれかの役職でなければなりません。

- 一般システム管理者
- フルフィルメント アドミン

Almaは、主に利用可否によって場所の表示優先度を決定します。逐次刊行物の所蔵を除き、利用可能なアイテム数が最も多い所蔵が最初に表示されます。さらに、Almaでは利用者のIPアドレスと一致する場所を優先できます。これらのロケーションには、AVA \$\$Pフィールドが含まれます。詳細については、次のトピックを参照してください：[コラボレーションネットワークでの検出](#)

Note

Primo VE環境では、AVAフィールドを使用する必要はありませんが、Almaでの並べ替えと優先度の構成は、PrimoとPrimo VEの両方で同じものです。さらに、Primo VEはAlmaのカスタム並び替え設定を上書きできます。詳細については、「[Primo VE用の「表示」サービスの構成](#)」を参照してください。

また、所属機関の考慮事項に基づいて、場所の表示順序を独自に構成することもできます。[Get It]タブに場所のリストを表示するときに、レコードに複数の所蔵がある場合、それらは機関が定義した順序で一覧化されます。機関の優先順位が定義されていないか、関連性がない場合は、アルファベット順の並べ替えが使用されます。

次の1つ以上の基準に基づいて、所蔵の場所がPrimoの[Get It]の最初のページに順番に表示されます。

- ユーザーのロケーションとロケーションのユーザーへの近さによる、図書館のIPアドレスによる。ユーザーに最も近い図書館のロケーションは、所蔵リストの一番上に表示されます。これらの基準が使用される場合、それは所蔵の利用可否よりも優先されます。
- 所蔵の利用可否による、オーダー（デフォルト）：
 1. 一時的なロケーションにある
 2. 恒久的なロケーションにある
 3. リモートロケーションにある

このオーダーは、[ロケーションオーダープロファイル]ページ（[設定メニュー]>[フルフィルメント]>[ディスカバリーインターフェイス表示ロジック]>[ロケーションオーダープロファイル]）で選択します。

Locations Ordering Profile Save

Use Alphabetical Sorting Only No Yes

Use "IP best location" sorting No Yes

Prefer Remote Storage No Yes

Use Custom Sorting No Yes f [Set Custom Libraries Order](#)

ロケーションオーダープロファイル

Note

このオーダーは、機関レベルでのみ設定できます。フルフィルメント設定ページの設定フィルタから必要な機関を選択します。

場所の順序を構成するには：

1. Primo Get Itの所蔵を、RTA中に AVA \$\$cサブフィールドのPrimoに渡される場所の外部名でアルファベット順に並べ替える場合は、**[アルファベット順の並べ替えのみを使用]**フィールドで**[はい]**を選択します。アルファベット順のソートロジックはハードコーディングされています。

このオプションがはいに設定されている場合、このページの他のすべての注文オプションは無効です。

2. **[「IP最適な場所」の並べ替えを使用する]**フィールドで、**[はい]**を選択して、最適な場所ごとの**所蔵**の表示を構成します。これは、RTA中の AVA \$\$pサブフィールドでの場所の優先度によって決定されます。**図書館のIPアドレス**を定義する必要があります。いいえは、**所蔵**が利用可否によって表示されること、および**所蔵**ロケーションの表示のためにIPアドレスを定義する必要がないことを示します。

IPアドレスを設定できます。

- 。 **図書館レベル** ([図書館のIP定義の管理](#)を参照)
- 。 **キャンパスレベル** ([キャンパスの編集](#)参照)

3. リモートストレージを優先フィールドで、はいを選択して、Primoの**[取得する]**、Primoへの発行、またはPrimo RTAで結果を表示するときにリモートストレージアイテムの優先度を上げます。

4. カスタムソートを定義するには：

1. カスタムソートを使用するフィールドではいを選択し、カスタム**図書館**の順序を設定するリンクを選択します。

Note

このフィールドが**Yes**に設定されている場合、このページから他のすべての場所注文フィールドが削除されます。

2. 開く **カスタムライブラリの注文ページ**で、**ライブラリの追加**を選択してください。
3. 開いたダイアログで、目的の各**図書館**の順序を指定します。数値を入力します。「**1**」は、「Get It」タブの場所リストで最初に表示される**図書館**です。

Library	Order	Updated by	Last Updated
1. Biology Library	1	exl_impl	2023/03/28
2. Music Library	2	exl_impl	2023/03/28
3. Graduate Library	3	exl_impl	2023/03/28

カスタム ライブラリの注文

- 選択した構成スコープがライブラリである場合に適用されるとき、ライブラリ内の各場所の優先度は、場所の**検出優先順位**属性を構成することによっても決定することができます(設定メニュー>一般>場所>物理的な場所)。同じ図書館のすべての「最初に表示」される場所は、同じ図書館の他の場所より先にソートされ、同じ図書館のすべての「通常表示」される場所は、同じ図書館の「最後に表示」される場所より先にソートされます。同じ**検出優先順位**内の場所は、利用可否によってソートされます。詳細については、[物理的な場所の設定](#)を参照してください。

物理的な場所の検出プロフィールを編集

- [保存]**を選択します。

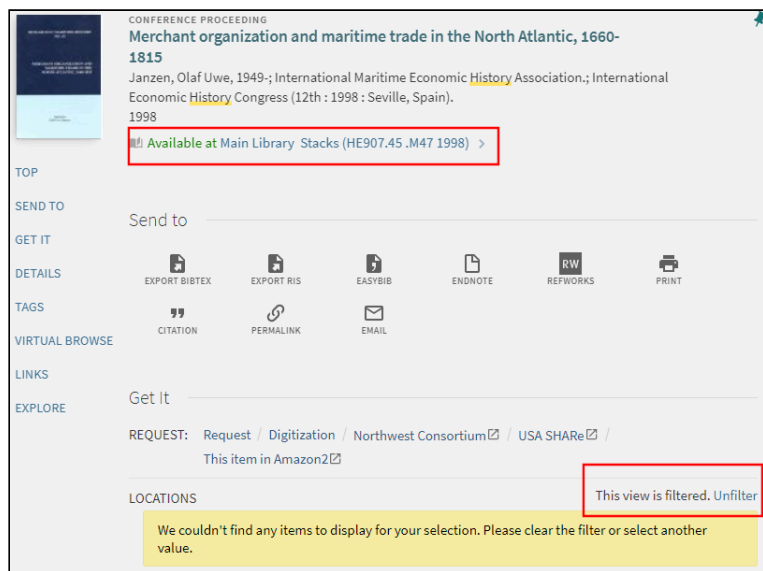
Primoでの利用可否による図書館リストのフィルタ処理

Note

- このセクションは、Alma-Primo環境にのみ適用されます。Primo VEを使用している場合は、[Get Itのローケーションフィルタリストの設定](#)を参照してください。
- この機能は、Alma-Summon環境には適用されません。

[Alma図書館にマップされたPrimo表示]ページでは、目録アイテムに関する利用可否情報を表示するときに、Primoの[Get It]に最初に表示される図書館のリストをフィルタ処理できます。図書館が設定されている場合、これらの図書館はアイテムに対して最初に表示されます。ユーザーは、フィルタを削除した後、すべての図書館を表示できます。図書館が設定されていない場合、すべての図書館がデフォルトで表示されます。

次の例では、メイン図書館に使用可能なアイテムがありますが、メイン図書館以外の1つ以上の図書館が[Alma図書館にマップされたPrimoビュー]ページで構成されているため、場所のリストから除外されています。ユーザーは[フィルター解除]を選択すると、メイン図書館のアイテムを表示できます。



Get Itのフィルタリングされた図書館の例 - PrimoVE

Get Itでフィルタリングされていない図書館のリストに図書館を追加するには：

1. [AlmaライブラリにマッピングされたPrimo表示] ページを開きます（[設定メニュー] > [フルフィルメント] > [ディスカバリーインターフェイス表示ロジック] > [Primo表示からライブラリ]）。

Enabled	View	Library Code	Updated By	Last Updated
<input checked="" type="checkbox"/>	PRIMO_OAP_INST:ALMA_TEST	GRAD	ex_impl	2020/12/15
<input checked="" type="checkbox"/>	PRIMO_OAP_INST:ALMA_TEST	BIO	ex_impl	2020/12/15

Alma図書館マッピングテーブルにマッピングされたPrimo VEビュー

2. 図書館をリストに追加します。
 1. 行の追加を選択して、ダイアログボックスを開きます。
 2. 次のフィールドを指定します。
 - 表示 - Primo/Primo VEビューコードを指定します。
 - 図書館コード - Alma図書館コードを指定します。図書館名とコードを見つけるには、[機関図書館の追加/編集](#)を参照してください。
 3. ダイアログボックスで行の追加を選択して、図書館をデフォルトリストに保存します。
3. 図書館の追加が完了したら、保存またはカスタマイズ（初回のみ）を選択して、リストへの変更を保存します。

所蔵表示ラベルの設定

Primo VE環境については、[Primo VEの所蔵表示フィールド](#)の設定を参照してください。

所蔵表示ラベルを設定するのは、次のいずれかの役職でなければなりません。

- 一般システム管理者
- フルフィルメント アドミン

[所蔵表示ラベルとオーダー]コードテーブルは、レコードのフル表示の[Get It]セクションに表示される所蔵フィールドを設定し、次のアクションを実行できます。

- 所蔵フィールドの表示を有効/無効にします。
- [取得する]で所蔵フィールドが表示されるオーダーを指定します。
- 各所蔵フィールドの表示ラベルをカスタマイズおよび翻訳します。
- 新しい表示フィールドを追加します。

所蔵表示ラベルページ ([設定メニュー] > [ディスカバリー] > [GetIt 設定] > [所蔵表示ラベル]) にアクセスします。

Note

このページにアクセスするには、`uresolver_enable_getit_holding_configuration`顧客パラメータを`true`に設定する必要があります。

Enabled	Move Up	Move Down	Code	Description	Translation	Default Value	Updated By	Last Updated
<input checked="" type="checkbox"/>			SUMMARY_HOLDING	Holdings:	Holdings:	<input type="radio"/>	-	-
<input checked="" type="checkbox"/>			PUBLIC_NOTE	Note:	Note:	<input type="radio"/>	-	-
<input checked="" type="checkbox"/>			SUPPLEMENTARY_MATERIAL	Supplementary Material:	Supplementary Material:	<input type="radio"/>	-	-

所蔵表示ラベル

表示ラベルを設定する場合：

1. コード、説明、コードがデフォルト値であるかなど、表示ラベルの行を追加します。行を追加を選択します。
2. フィルタドロップダウンから、翻訳値を入力する言語を選択します。
3. ラベルの翻訳フィールドに、翻訳に表示される値を入力します。
4. 翻訳値を使用する追加の言語がある場合は、フィルタドロップダウンから次の言語を選択し、ステップ3を繰り返します。
5. 保存を選択します。

Primo所蔵表示の設定

Primo VE環境については、[Primo VEの所蔵表示フィールド](#)の設定を参照してください。

Primoの所蔵表示を設定するのは、次のいずれかの役職でなければなりません。

- 一般システム管理者
- フルフィルメント アドミン

[Primoカスタマイズされた所蔵]マッピングテーブル ([設定メニュー]>[フルフィルメント]>[ディスカバリーインターフェイス表示ロジック]>[所蔵表示のカスタマイズ]) を使用すると、ソースの所蔵レコードからPrimoに情報をマッピングして、レコードの詳細の[Get It]セクションの次のフィールドに表示できます：所蔵、補足資料、メモ、装丁、受入元、保管履歴の所有権、および索引。たとえば、MARC 866 a、zをHoldings表示フィールドにマッピングできます。

Note

このページにアクセスするには、最初にuresolver_enable_getit_holding_configuration顧客パラメーターをtrueに設定する必要があります。

Enabled	Holding Field	Holding Subfield	Label	CSS Class	Displayed in Column
<input checked="" type="checkbox"/>	866	a,z	Holdings:	summaryHolding	Second
<input checked="" type="checkbox"/>	867	a,z	Supplementary Mater	supplementaryMateri	Second
<input checked="" type="checkbox"/>	852	z	Note:	note	Second
<input type="checkbox"/>	868	a,z	Indexes:	indexes	Second
<input type="checkbox"/>	541	a,b,c,d	Source of Acquisition	sourceOfAcq	Second
<input type="checkbox"/>	561	a,3,u	Ownership and Custody	ownership	Second
<input type="checkbox"/>	563	a,3,u	Binding:	binding	Second

Primoカスタマイズ所蔵マッピングテーブル

所蔵表示を設定する場合：

1. [Primoカスタマイズされた所蔵]マッピングテーブル ([設定メニュー]>[フルフィルメント]>[ディスカバリーインターフェイス表示ロジック]>[所蔵表示のカスタマイズ]) を編集します。
2. [行の追加] を選択します。
3. [行の追加]ダイアログボックスで次のフィールドを指定します。
 - 所蔵フィールド – PrimoにマップするMARC所蔵フィールド。
 - 所蔵サブフィールド – マップする所蔵フィールドの特定のサブフィールド。複数のサブフィールドを指定する場合は、それらをコンマで区切ります。
 - ラベル – 所蔵フィールド/サブフィールドをマップする表示フィールドを選択します。Primoでは、次の表示フィールドがサポートされています：所蔵、補足資料、メモ、索引、受入元、保管履歴の所有権、および製本。
 - CSSクラス – PrimoビューのスキンのCSSで定義されたCSSクラス。詳しくは、[デリバリータブのブランディング](#)を参照してください。

- 。 列に表示 - 1番目または2番目の表示列を指定します。
4. **[行の追加]**を選択して行を保存し、マッピングテーブルに戻ります。
 5. 新しい行が有効になっていることを確認してください。
 6. これがこのテーブルの最初のカスタマイズである場合は、**[カスタマイズ]**を選択します。それ以外の場合は、**[保存]**を選択します。

ロジックルールを表示する

表示ロジックルールは、保留、予約、リソース共有などのGetItサービスを設定するために使用することができます。詳細については、[表示ロジックルールの設定](#)を参照してください。

ディスカバリーインターフェイスでのサービスラベルの設定

[取得]のサービスラベルを構成できます。詳細は、[ディスカバリーインターフェイスでのサービスラベルの設定](#)を参照してください。

その他の標準識別子

標準識別子のみに基づいて [入手する] サービスを検索するパラメータ ([設定メニュー] > [フルフィルメント] > [検出インターフェイス表示ロジック] > [その他の設定]) を使用して、PrimoまたはPrimo VEの [入手する] 機能 (ローカルAlmaの物的所蔵をリクエストまたは検出するために選択したもの) は、以下の強力な標準識別子を使用します：

- ISSN
- E-ISSN
- ISBN
- E-ISBN
- LCCN
- CODEN
- OCLCの一意の番号
- その他のシステム番号

一般的に、強力な識別子を使用するとより良い結果が得られます。識別子に関する詳細については、[URLテンプレートで一般的に使用されるOpenURL属性](#)を参照してください。関連するMARCフィールドのリストについては、[MARC21検索インデックス](#)を参照してください。

デフォルトでは、このオプションが選択されておらず、タイトルまたはタイトルと著者のマッチングのための元のロジックが使用されています。この弱い一致条件では、[入手する]の結果が望ましいものでない場合があります。一部の機関では「ノイズ」を犠牲にしても、より多くの結果を得たいと思っています。より多くのデータを提供することと、正し

いデータのみを提供することの間には常にバランスが存在します。識別子なしのデータによるマッチングでは、より多くのデータが提供されますが、精度は低くなる可能性があります。一部のリソースには識別子がないことにご注意ください。

PrimoまたはPrimo VEの検索結果から「入手する」を選択し、標準識別子のみに基づいてこの「入手する」サービスを検索するパラメータが選択されている場合、(PrimoまたはPrimo VEの検索結果で) OpenURLから受け取った所蔵資料はこれらの所蔵資料が上記で示される強力な標準識別子のいずれにも含まれないまたは一致しない場合に Almaが「それを入手する」リクエストを処理する際に無視されることに注意してください。